

緊急受診ガイド

家庭自己判断用 Ver.1

この冊子は総務省消防庁の緊急度判定
プロトコル Ver.3 救急受診ガイド（家庭
自己判断）を基にして家庭でどのように
判断して救急車などを呼ぶかを記載して
います。症状に合わせて、判断の一助に
してください。

2025 年 9 月

一般社団法人 泉大津市医師会



緊急度判定プロトコル Ver.3

救急受診ガイド

(家庭自己判断)

緊急度判定プロトコル（家庭用）

この冊子は総務省消防庁作成の救急受診ガイドを基に作成されました。

在宅訪問診療を受けている患者の急変時、かかりつけ医に相談できない時に、病院を受診したら良いか、救急車を呼んだほうが良いかなどの判断の一助とするために編集されています。

この冊子に記載している59の症候に沿って、どんな状態であるかを見て、緊急度を判断してください。

緊急度とは、病気やケガが悪くなっていく（重症化する）スピードです。病状の進み具合とも表現します。

緊急度が高いとは、重症化するまでの時間が短いので、この場合は救急対応が必要になります。

疾患によっては、適切に判断できない場合もあり、迷う場合もありますが、判断の一助としてお使いください。

1) 緊急性が高いと判断された場合

急いで119番に電話して救急車を呼んでください。医療情報シートを持参して、救急隊員または搬送先の医師に提示してください。

2) 準緊急と判断した場合

病院などの医療機関の受診が望ましいと考えられます。訪問看護師、かかりつけ医に連絡・相談を試みて、24時間対応の積極的役割を担う医療機関に、かかりつけ医あるいは訪問看護師から連絡していただき、その結果を受けて、受診か経過観察の判断を行ってください。

(かかりつけ医、訪問看護師に連絡が取れない時は、#7119に相談、救急車を呼ぶかどうかの判断を受けてください)

3) 低緊急と判断した場合

緊急ではありませんが、診療時間内、あるいは診療時間外であれば、翌日の診療時間内に医療機関を受診してください。夜間、診療時間外の場合、不安であれば#7119に電話相談を行う、あるいは、訪問看護師に電話相談してみてください。

4) 非緊急と判断した場合

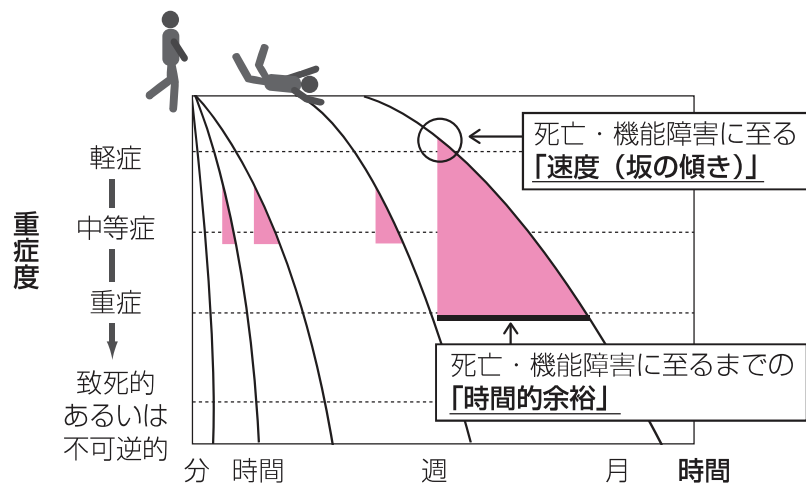
家庭での経過観察、訪問看護師への相談、#7119への相談、かかりつけ医への相談などで対応してください。

緊急度判定プロトコル URL

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate002.html>

以下に症候と判断基準となるシェーマなどの記載があり参考にしてください。

緊急度の概念図



出典：日本臨床救急医学会雑誌 委員会報告

※上の図の曲線の坂の傾きが急であるほど、重症になるまでの時間が短い、つまり緊急度が高くなることを示しています。それぞれの病気やけがの種類によってこの曲線の傾きは異なります。加えて、年齢や持病がこの坂の傾きに関係することがあります。

共通に確認する項目

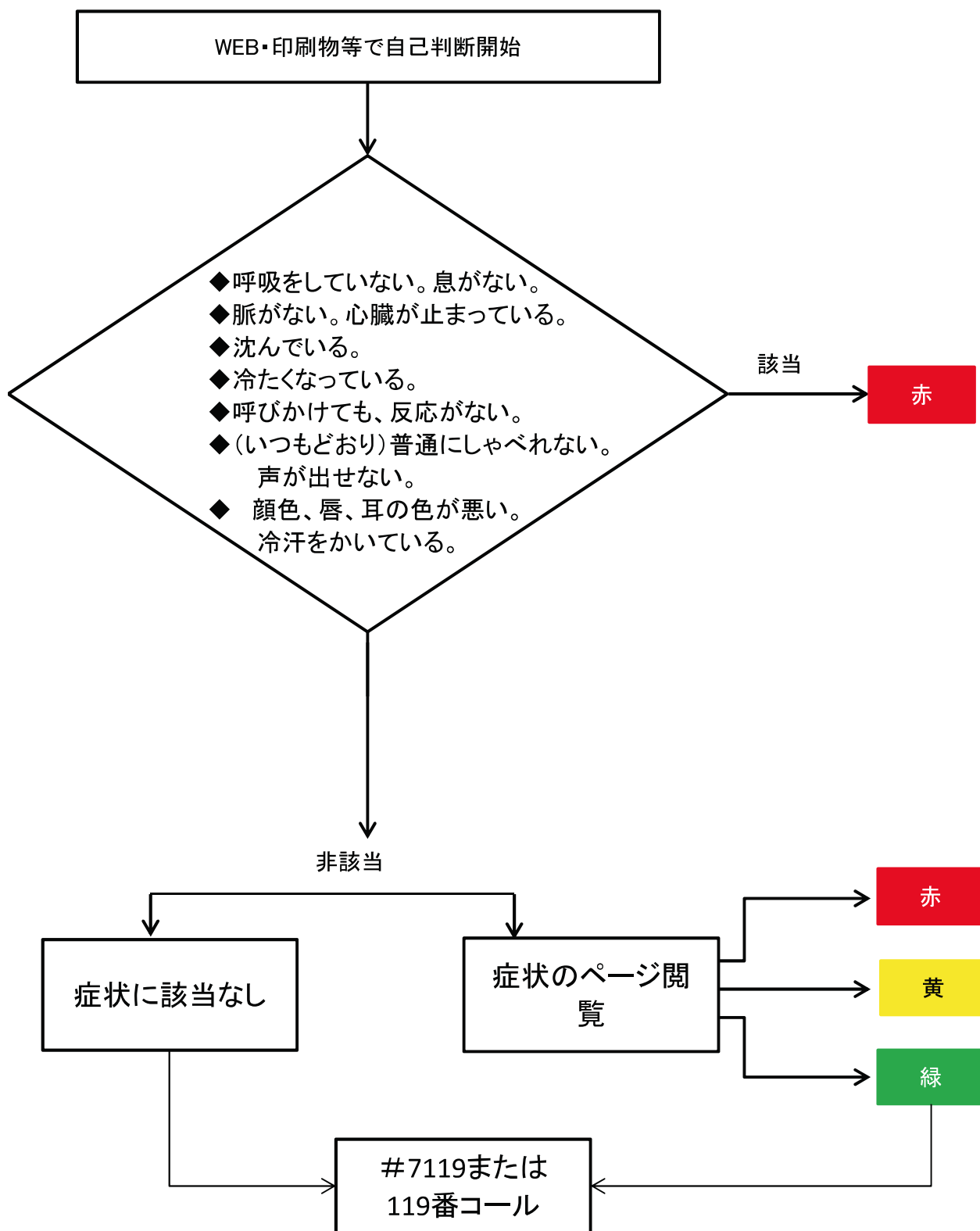
次の場合は、**救急車等で緊急受診**が必要です。
呼吸をしていない。息がない。
脈がない。心臓が止まっている。
水没している。冷たくなっている。

各症候プロトコルへ進む前に、以下の質問を確認してください。

Q1	(いつもどおり)ふつうにしゃべれていますか？	「はい」→Q2へ
	声は出せていますか？	「いいえ」→赤
Q2	ハアハアしますか(ハアハアしていますか)？	「はい」→「息が苦しい」へ
	息は苦しい(苦しそう)ですか？	「いいえ」→Q3へ
Q3	顔色、唇、耳の色が悪いですか？	「はい」→赤
	冷や汗をかいていますか？	「いいえ」→Q4へ
Q4	しっかりと受け答えが出来ますか？	「はい」→各症状の項目へ
		「いいえ」→「意識がおかしい」へ

緊急度	定義
赤 (緊急)	• 直ちに受診 が必要です。 • 今すぐ救急車等で病院に受診して下さい。
黄 (準緊急)	• 受診が必要です。
緑 (低緊急)	• 緊急ではありませんが、医療機関に受診して下さい。 • 夜間でしたら翌日の診察でもかまいません。
白 (非緊急)	• 家庭での経過観察または通常診療時間内での受診を勧めます。

【家庭自己判断アルゴリズム】



家庭自己判断プロトコル (Ver. 3) 症候一覧

No	症候名	症状例
1	息が苦しい (成人)	「息が苦しい」「呼吸が苦しい」「息苦しい」「息が荒い」「肩で息をしている」「息ができない」など
2	呼吸がゼーゼーする (成人)	「ゼーゼーいっている」「ヒューヒューいっている」「息をするときに音がある」「痰がからんだような音がある」など
3	ぜんそく発作 (成人)	「喘息なんですが・・・」など
4	動悸 (成人)	「ドキドキする」「動悸がする」「脈が速い」「脈がとぶ」など
5	意識がおかしい (成人)	「反応がない」「意識がないようだ」「変なことを言う」「うわごとを言っている」「いつもと様子が違う」など
6	けいれん (成人)	「ひきつけ」「てんかん」「ガタガタ震えている」「泡を吹いている」「白眼をむいている」など
7	頭痛 (成人)	「頭が重い」「後頭部が痛い」「頭痛がすると言って倒れた」など
8	胸が痛い (成人)	「胸が痛い」「胸が苦しい」など
9	背中が痛い (成人)	「背中が痛い」「背骨の具合が悪い」など
10	ろれつが回らない (成人)	「うまく声が出ない」「声がかれていない」「いつもと違う声でしゃべっている」「呂律が回らない」など
11	腰痛 (成人)	「腰が痛い」「ぎっくり腰」「腰痛」など
12	風邪をひいた (成人)	「風邪をひいた」「咳や痰が出る」「だるい」「インフルエンザかも・・・」など
13	発熱 (成人)	「熱が出た」「悪寒がする」「震えている」など
14	発疹 (成人)	「ブツブツ・発疹・湿疹・水ぶくれ・ジンマシンが出た」「皮膚が腫れた・かゆい・赤い」など
15	のどが痛い (成人)	「喉が痛い」「喉が変だ」「飲み込みにくい」など
16	腹痛 (成人)	「おなかが痛い」「みぞおちが痛い」「下腹が痛い」「脇腹が痛い」「お腹が張る」「足の付け根 (鼠径部) が痛い」など
17	便秘 (成人)	「便が出ない」「便秘が続いている」など (便秘があるがどうしても便がない状況)
18	下痢 (成人)	「便がゆるい」「下した」など
19	吐き気・吐いた (成人)	「吐いた」「吐き気」など
20	吐血・下血・血便 (成人)	「吐血または下血した」「吐物または便に血が混じる」「便が黒い・赤い」など
21	尿が出にくい (成人・小児)	「尿が出にくい」「尿の回数が少ない」など
22	陰からの出血 (成人)	「不正出血がある」「性犯罪にあった」など
23	めまい・ふらつき (成人)	「ふらつく」「目が回る」「めまいがする」など
24	しびれ (成人)	「手足がしびれる」「手足の感覚がおかしい」「手足が麻痺している」「手足が動かない」など
25	首が痛い・肩が痛い (成人)	「首が痛い」「うなじが痛い」「首が回らない」「首・肩が非常にこる・張っている」など
26	アレルギー (成人・小児)	「アレルギーを起こしたことのあるものを『食べた・触れた・吸った』あとからおかしい」など
27	高血圧 (成人)	「血圧が高い」など
28	眼科関連 (成人・小児)	「眼」に関する訴え
29	鼻のけが・鼻血 (成人・小児)	「鼻」かつ「外傷・けが」を含む愁訴。「鼻を打った」「鼻血が出る」「鼻汁が出る」「鼻が痛い」「鼻 (の周囲) が腫れている」「鼻 (の周囲) が痛い」など
30	口の中や歯の問題 (成人・小児)	「あごが外れた」「口の中が痛い」「歯が痛い」「歯が折れた」「歯が抜けた」「歯が欠けた」「口、舌、唇、歯肉を切った」など
31	手や腕の問題 (成人・小児)	「腕・指・爪」が含まれる表現
32	足 (太もものつけ根から足首) の問題 (成人・小児)	「足が腫れている」「足が変だ」「足がむくんでいる」「足が痛い」「足がつった」「足の色が変だ」など
33	足首から先の問題 (成人・小児)	「足が腫れている」「足が変だ」「足がむくんでいる」「足が痛い」「足の色が変だ」など
34	咬まれた・刺された (成人・小児)	「かまれた」「(トゲが) 刺さった」「(虫に) 刺された」(ヒト、動物、ヘビ、海洋生物 (クラゲなど)、昆虫 (ハチなど)、ダニなど)

35	やけど (成人・小児)	「やけどした」「火事でけがした」「火事で煙を吸った」
36	頭のけが (成人)	「頭を打った」「頭にけがをした」「頭をぶつけた」など
37	眼のけが (成人・小児)	「眼にけがをした」など
38	胸やおなかをぶつけた・胸やおなかに刺さった (成人・小児)	「胸やおなかをぶつけた」「胸やおなかに…が刺さった」など
39	手足・顔面のけが (成人・小児)	「手足にけがをした」「手足が折れた」「顔をけがした」「打ち身」「打撲」など
40	何か固形物を飲み込んだ (成人・小児)	「何か固形物を飲み込んだ」「食べものなどが喉につかえた」「喉に引っかかっている・取れない」など
41	何か液体を飲んだ (成人・小児)	「何か液体を飲んだ」など
42	薬をたくさん飲んだ・間違った薬を飲んだ (成人・小児)	「薬をたくさん飲んだ」「(子どもが)薬を食べてしまった」「間違った薬を飲んだ」など
43	熱中症 (成人・小児)	「暑気あたり」「熱射病」「日射病」など
44	発熱 (小児)	「泣き止まない」「痛そうに泣いている」「いつもと泣き方が違う」など
45	けいれん (小児)	「ひきつけ」「泡を吹いている」「白眼をむいている」「ガタガタ震えている」など
46	せき (小児)	「咳が出る」「風邪をひいた」「むせているようだ」など
47	鼻水・鼻つまり (小児)	「鼻がつまっている」「鼻水が出ている」など
48	ぜんそく発作 (小児)	「喘息なんです…」「ゼーゼー、ヒューヒューしている」「息をするときに音がする」「呼吸が苦しそう」「息が荒い」「息苦しい」など
49	息が苦しい (小児)	「息が苦しい (苦しそうだ)」「呼吸が苦しい (苦しそうだ)」「息が荒い」「肩で呼吸している」「ヒューヒュー、ゼーゼーする」「息ができない」など
50	発疹 (小児)	「発疹」「皮膚のブツブツ」「湿疹」「蕁麻疹」「体がかゆそう」など
51	吐き気・吐いた (小児)	「吐いた」「吐いている」「吐きそう」「気持ちが悪そう」など
52	下痢 (小児)	「下痢している」「おなかを下している」「便 (ウンチ) がゆるい」など
53	腹痛 (小児)	「おなかが痛い」「おなかを痛がる」「おなかが張っている」「おなかをさわると痛がる・激しく泣く」など
54	便秘 (小児)	「便 (ウンチ) が出ない」「便意はある (ようだが)、どうしても便が出ない (一般的には2～3日以上)」など
55	便の色の異常 (小児)	「便に血が混じる」「赤い便が出た」「便が白い」
56	耳痛・耳だれ (小児)	「耳が痛い」「耳を痛がる」「耳だれが出ている」など
57	頭痛 (小児)	「頭が痛い」「頭が痛そう」「泣きやまない」など
58	泣き止まない (小児)	「泣き止まない」「痛そうに泣いている」「いつもと泣き方が違う」など
59	頭のけが・首のけが (小児)	「頭をぶつけた」「落ちた」「頭から血が出た」など



救急安心センター事業(#7119)の全国展開

#7119ってなに？



#7119は住民の安心安全を守る

救急安心センター事業(#7119)とは、住民が急な病気やケガをしたときに、「救急車を呼んだほうがいいのか」、「今すぐ病院に行ったほうがいいのか」などで迷った際の相談窓口として、**専門家から電話でアドバイスを受けることができる仕組み。**

電話相談窓口では、相談を通じて病気やケガの症状を把握した上で、以下をアドバイス。

○ 救急相談

例) 緊急性の有無※1、応急手当の方法、受診手段※2

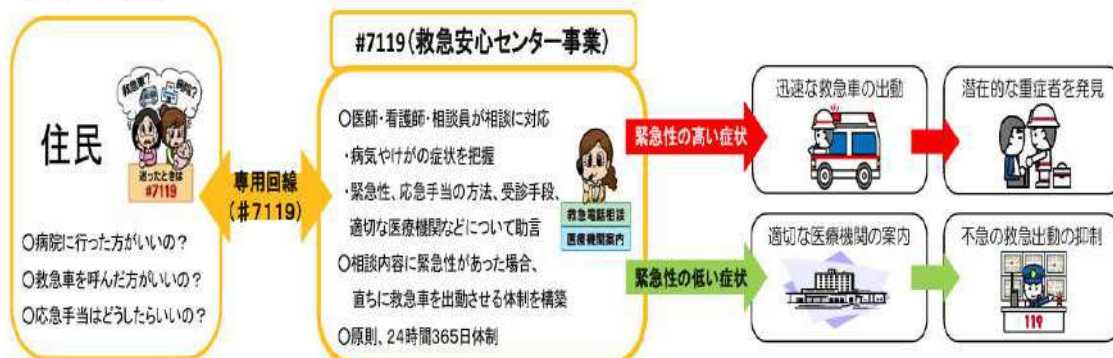
○ 適切な医療機関を案内※3

※1 直ちに医療機関を受診すべきか、2時間以内に受診すべきか、24時間以内か、明日でも良いか等。

※2 救急車を要請するのか、自分で医療機関に行くのか、民間搬送事業者等を案内するのか。

※3 適切な診療科目及び医療機関等の案内を行う。

【イメージ図】



救急安心センターURL

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate007.html>

* 令和8年度からは、看護師などの専門家のアドバイスではなく相談体制の変更が検討されている(未定)

メ モ



大阪府在宅医療サービス基盤整備推進事業(大阪府委託事業)

一般社団法人 泉大津市医師会

〒595-0013 大阪府泉大津市宮町2番25号

TEL : 0725-32-2536 FAX : 0725-23-0056